

【(表彰要項第2条第1号基準)関西大学体育会会員のうち、顕著な成績を収めた団体及び個人が対象】

国際大会 特別賞 ※オリンピック(夏季・冬季)に日本代表として出場したものを対象とする							
番号	クラブ名	氏名	フリガナ	学部・学年	受賞大会名	大島賞	覇業
1	アイススケート部	宮原 知子	ミヤハラ サトコ	文3	平昌オリンピック 女子フィギュアスケート競技 4位	○	○
国際大会3位以上(個人)							
番号	クラブ名	氏名	フリガナ	学部・学年	受賞大会名	大島賞	覇業
2	アメリカンフットボール部	政岡 和志	マサオカ カズシ	法3	第3回FISUアメリカンフットボール大学世界選手権大会 3位	○	○
3	アメリカンフットボール部	市川 憲章	イチカワ ケンショウ	文4		○	○
4	アメリカンフットボール部	藤原 航	フジワラ ワタル	経3		○	○
5	アメリカンフットボール部	清家 大志	セイケ タイシ	経4		○	○
6	アメリカンフットボール部	藤原 裕貴	フジワラ ユウキ	シス理4		○	○
7	アメリカンフットボール部	富田 優生	トミタ ユウセイ	人4		○	○
8	スキー競技部	安高 きら	ヤスタカ キラ	商2		2018年アジア選手権大会 ローラースポーツ競技 スピード種目 女子シニアトラック 3000mリレー3位	○
9	ソフトボール部	高井 菜々	タカイ ナナ	人1	第2回アジア大学女子ソフトボール選手権大会 3位	○	○
国際大会 敢闘賞 ※ユニバーシアード大会など、全世界を対象とする大会に日本代表として出場したものを対象とする							
番号	クラブ名	氏名	フリガナ	学部・学年	受賞大会名	大島賞	覇業
10	ヨット部	高野 芹奈	タカノ セナ	人3	世界選手権 セーリング・ワールド・チャンピオンシップ2018 49erFX級 女子 出場	○	○
全国大会優勝(団体) ※氏名は、決勝戦の出場者。							
番号	クラブ名	氏名・学部・学年		受賞大会名		大島賞	覇業
11	アイススケート部	十倉日和(人2)、森下実咲(人1)、安原綾菜(情4)		第91回日本学生氷上競技選手権大会 女子学校対抗 フィギュア部門 優勝		○	○
12	少林寺拳法部	高瀬 宣男(社4)、伊藤 駿亮(シス理4)		第52回少林寺拳法全日本学生大会 立合評価法男子の部 優勝		○	○
13	なぎなた部	大村篤志(法3)、石橋立成(政策4)、梅垣仁志(人4)		第57回全日本学生なぎなた選手権大会 公開競技男子団体の部 優勝		○	○
全国大会優勝(個人)							
番号	クラブ名	氏名	フリガナ	学部・学年	受賞大会名	大島賞	覇業
14	アイススケート部	中村 優	ナカムラ シユウ	政策4	第91回日本学生氷上競技選手権大会 フィギュア部門 男子シングル 7,8級 優勝	○	○
15	少林寺拳法部	伊藤 駿亮	イトウ シュンスケ	シス理4	第52回少林寺拳法全日本学生大会 立合評価法男子重量級の部 優勝	○	○
16	ソフトテニス部	古田 麻友	フルタ マユ	人2	JOCジュニアオリンピックカップ大会/ 第25回全日本ジュニアソフトテニス選手権大会 U20女子 ダブルス優勝	○	○
17	テニス部	越野 菜摘	コシノ ナツミ	文3	第71回北信越テニス選手権大会 女子シングルス優勝	○	○
18	テニス部	高村 烈司	タカムラ ツヨシ	商3	第87回東海中日テニス選手権大会 男子ダブルス優勝	○	○
19	テニス部	島田 達也	シマダ タツヤ	人2	第87回東海中日テニス選手権大会 男子ダブルス優勝	○	○
20	馬術部	中村 大樹	ナカムラ タイキ	情3	全日本学生大会2018/第68回全日本学生賞典障害競技大会 優勝	○	○

【(表彰要項第2条第2号基準)広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残し、本学と関わりを持つ団体及び個人が対象】

番号	本学との関わり	氏名	フリガナ	受賞理由	大島賞
21	関西大学体育会 サッカー部OB	古川 好男	ふるかわ よしお	1956年メルボルンオリンピック(在学中)、1958年アジア大会、1960年ローマオリンピック予選など国際Aマッチ18試合(1956-1962)出場(ゴールキーパー)。日本ダンロップに入社後、全国都市対抗選手権大会で3年連続ベスト4(1957-1959)。引退後は、関西大学校友会副会長、関西大学評議員企画委員長、関西大学千寿会会長、サッカー部OB会名誉会長などを歴任。生涯にわたり本学を中心に広くスポーツ文化の発展に貢献。	○
22	関西大学体育会 レスリング部OB	市口 政光	いちぐち まさみつ	1960年ローマオリンピック7位入賞(在学中)、1964年東京オリンピック日本人初グレコローマン(バンタム級)金メダリスト、1968年メキシコシティオリンピック出場(コーチ兼任)、1984年ロサンゼルスオリンピックグレコローマン監督、東海大名誉教授など輝かしい経歴を持つ。本学唯一のオリンピック金メダリスト。生涯にわたりジュニアの育成に尽力。1990年度第3回大島賞(ホップ賞)も受賞。	○
23	関西大学体育会 アイススケート部OB	佐藤 信夫	さとう のぶお	1960年スコーパーレー、1964年インスブルックオリンピック出場(男子シングル)。全日本選手権通算10回(10年連続)優勝。1965年世界選手権4位(日本人初3回転サルコウ成功)、国際スケート連盟エキシビジョンツアー日本人初参加、1966年トリノユニバーシアード優勝。佐野稔、荒川静香、安藤美姫、村主章枝、浅田真央らを指導。2010年世界フィギュアスケート殿堂入り。1989年度第2回大島賞(ホップ賞)も佐藤一家として受賞。	○